



広島県支部会報



平成27年6月20日

第76号 尾道市防災士会研修会

【尾道市防災士会研修会】

日時：6月7日13時30分～15時30分

場所：尾道市消防本部6階会議室

主催：日本防災士会広島県支部尾道市防災士会

協力：尾道市

支援：日本防災士会広島県支部南東部地区

参加者：26人（尾道郵便局長、尾道市総務課3名）

【はじめに】：（尾道市防災士会世話人 細川龍彦）

尾道市では今年5月13日「おのみち防災アドバイザー制度」を設立し、市内の自主防災組織の設立及び活性化を図るために防災アドバイザーを登録し、地域防災力の向上を促進して行く計画。

尾道市内の防災士は日本防災士機構認定の県支部会員数が18名に増加を期に、今回「尾道市防災士会」が設立され、細川龍彦防災士等が中心となって初会議と研修会を企画した。細川防災士は会員相互の連携協力、防災士としてのスキルアップと共に市民の防災啓発に取り組もうと挨拶した。

【研修会内容】：

(1) 尾道市防災制度の説明（尾道市総務課 新宅正章氏）

尾道市の防災力向上の施策の概要説明があり、その中で防災アドバイザー制度の実施要領の説明、アドバイザーとしての登録、活動報告などについて説明が行われた。

(2) 講演 「防災士の役割と期待！」 県支部防災士 桑木光信

災害の多発、被害の甚大化が国内いたるところで発生、予測されています。自分たちのまちは自分達で守る事が求められている。尾道市の防災士としての役割と期待について改めて認識しよう。

要旨は下記の通り；

① 災害について知っておく事！

・南海トラフ巨大地震は必ず襲ってくる ・尾道市の地震、津波の想定被害（震度6強、津波3.5m、死者1,740人、建物全半壊37,230棟など） ・豪雨土砂災害への備え ・尾道市防災情報の活用

② 「広島土砂災害」の教訓！

・災害死ゼロを目指す「みんなで減災、県民総ぐるみ運動」への推進役
・被災地区では地域防災活動が変革している ・広島土砂災害の「体験談集」の編集意義は大きい
・日頃の備え！とこんな時は危険を知り、早く避難する！

③ 防災士の役割と期待！

・助けられる人から助ける人へ！ ・自らの身を守り、生き延び、周囲の人に手を差し伸べる！
・災害から地域を守り、最小限の被害に留める地域防災の担い手になる！

④ おわりに！

・「南海トラフ巨大地震」の危険を正しく理解！ また「土砂災害」の備えも必要！
・日頃から防災に備え、訓練の積み重ねが大切！ ・備えや訓練無しでは安全はない！

あとがき：

尾道市は広島県支部南東部地区に所属している。防災士登録会員の増加（6人から18人）と尾道市防災士会の設立により、防災活動は一層高まり、市民の防災意識と啓発活動の向上につながり、防災力の強化・安全が期待される。

(広報 桑木光信)

[防災士会研修会の様子]：

- ・ 中国新聞 (2015. 6. 9)
- ・ 尾道市防災制度の説明
- ・ 尾道市防災士会会員の皆さん



尾道市防災制度の説明

中国新聞 (2015.6.9)



尾道市防災士会会員の皆さん

終り